

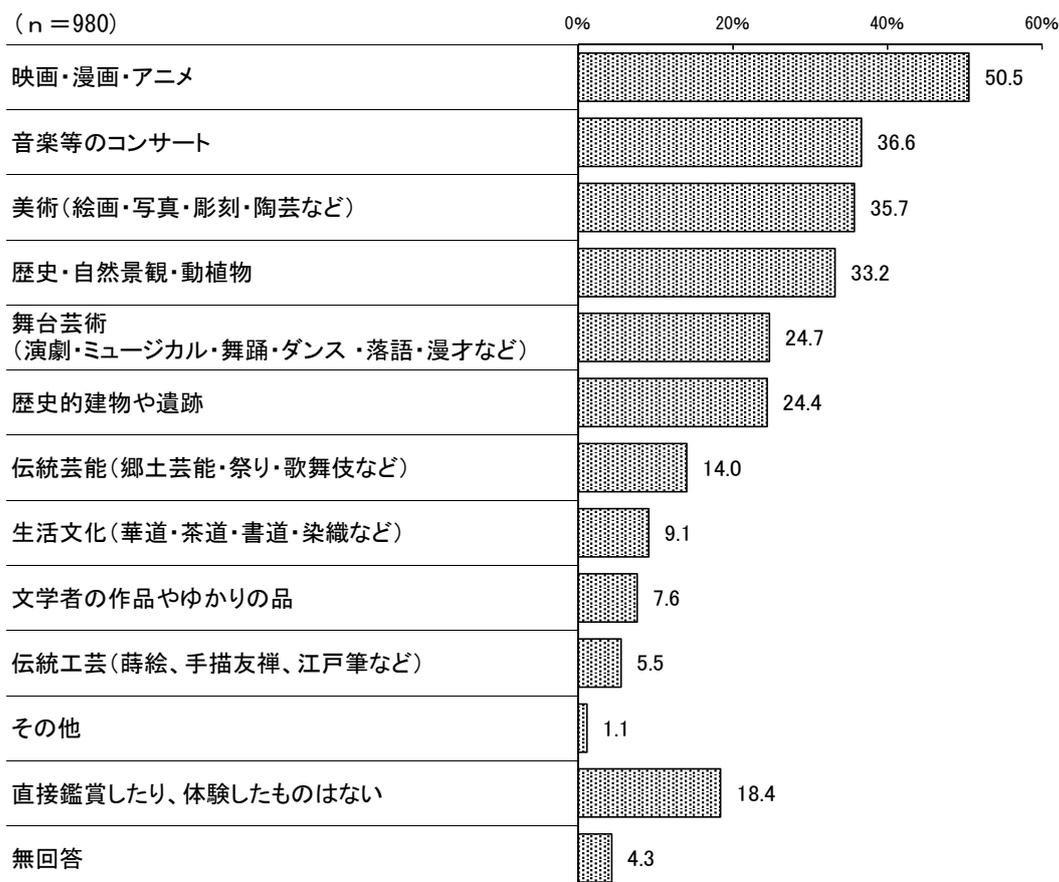
## 4 文化芸術・生涯学習について

### (1) 1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術の分野

◇「映画・漫画・アニメ」が5割

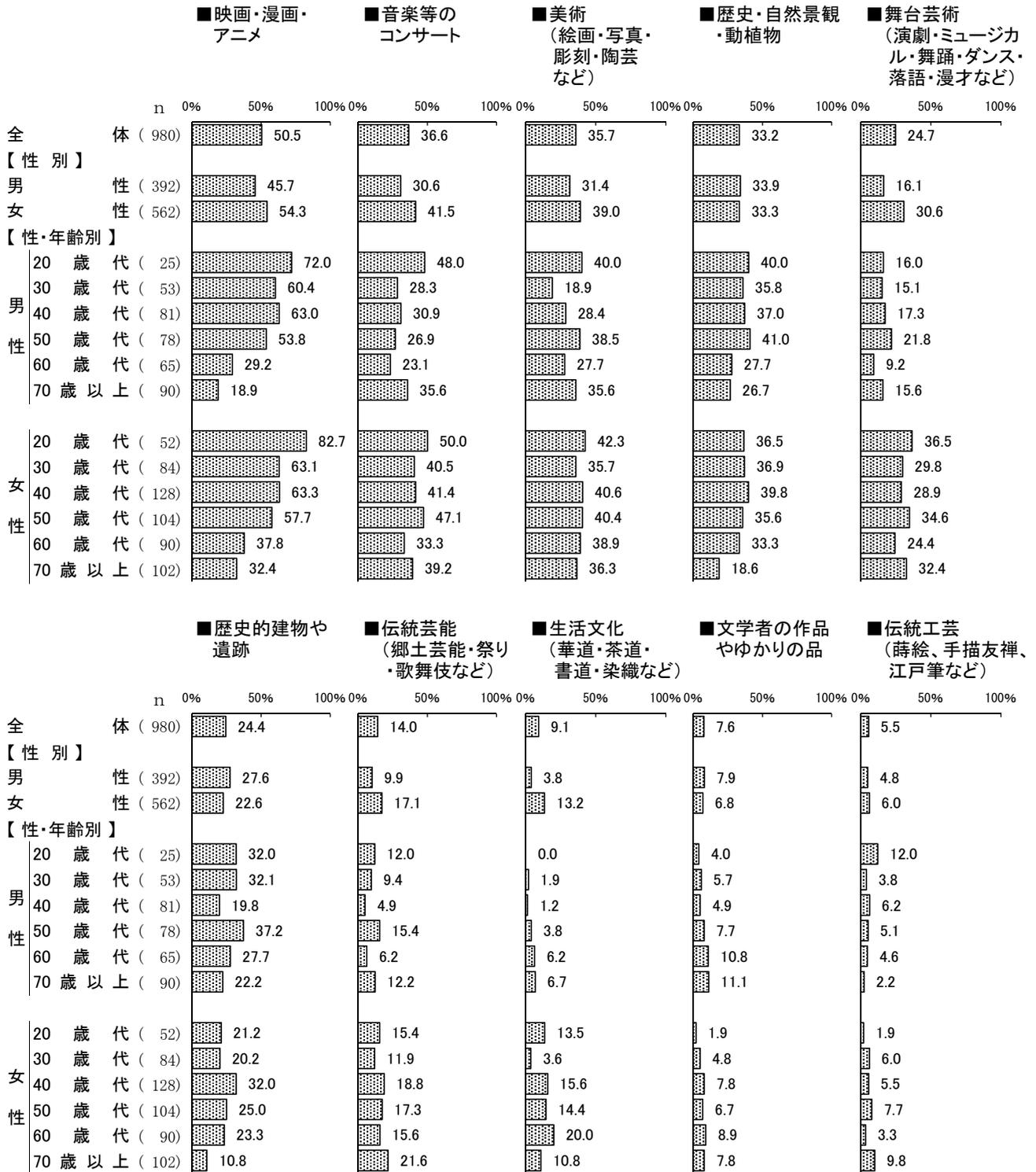
問27 あなたが、この1年くらいの間に直接鑑賞したり、体験した文化芸術の分野は何ですか。体験の場所は区内に限定せずお答えください。（〇はいくつでも）

図4-1-1 1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術の分野



区内に限定せず、この1年間くらいの間に直接鑑賞したり体験した文化芸術分野を聞いたところ、「映画・漫画・アニメ」(50.5%)がほぼ5割と最も多く、次いで「音楽等のコンサート」(36.6%)、「美術(絵画・写真・彫刻・陶芸など)」(35.7%)、「歴史・自然景観・動植物」(33.2%)などの順となっている。(図4-1-1)

図4-1-2 1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術の分野（上位10位）－性別／性・年齢別



性別にみると、全般的に女性の方が直接鑑賞・体験した分野が多い傾向となっており、女性の方が「舞台芸術」が14.5ポイント、「音楽等のコンサート」が10.9ポイント、「生活文化」が9.4ポイント、「映画・漫画・アニメ」が8.6ポイント、「美術」が7.6ポイント、「伝統芸能」が7.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が「歴史的建物や遺跡」が5.0ポイント高くなっている。

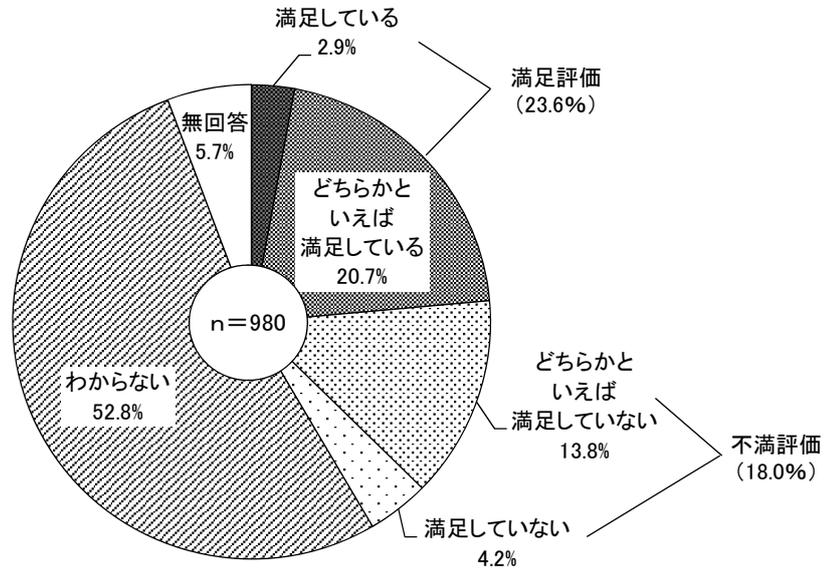
性・年齢別にみると、「映画・漫画・アニメ」は男女ともに低い年代ほど多い傾向となっており、女性20歳代で8割を超え、男性20歳代で7割を超えている。「音楽等のコンサート」は男女それぞれ20歳代で5割ほどと多くなっている。（図4-1-2）

## (2) 区内の文化芸術環境の満足度

◇「わからない」が5割を超え、『満足評価』は2割半ば

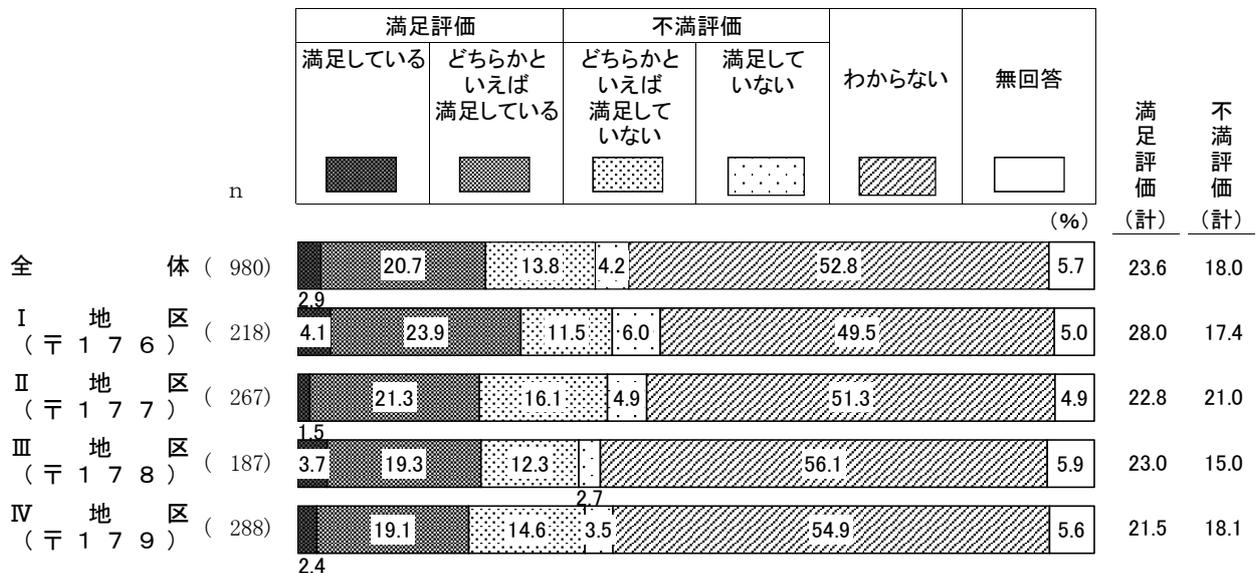
問28 あなたは、区内の文化芸術環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財などに満足していますか。(〇は1つ)

図4-2-1 区内の文化芸術環境の満足度



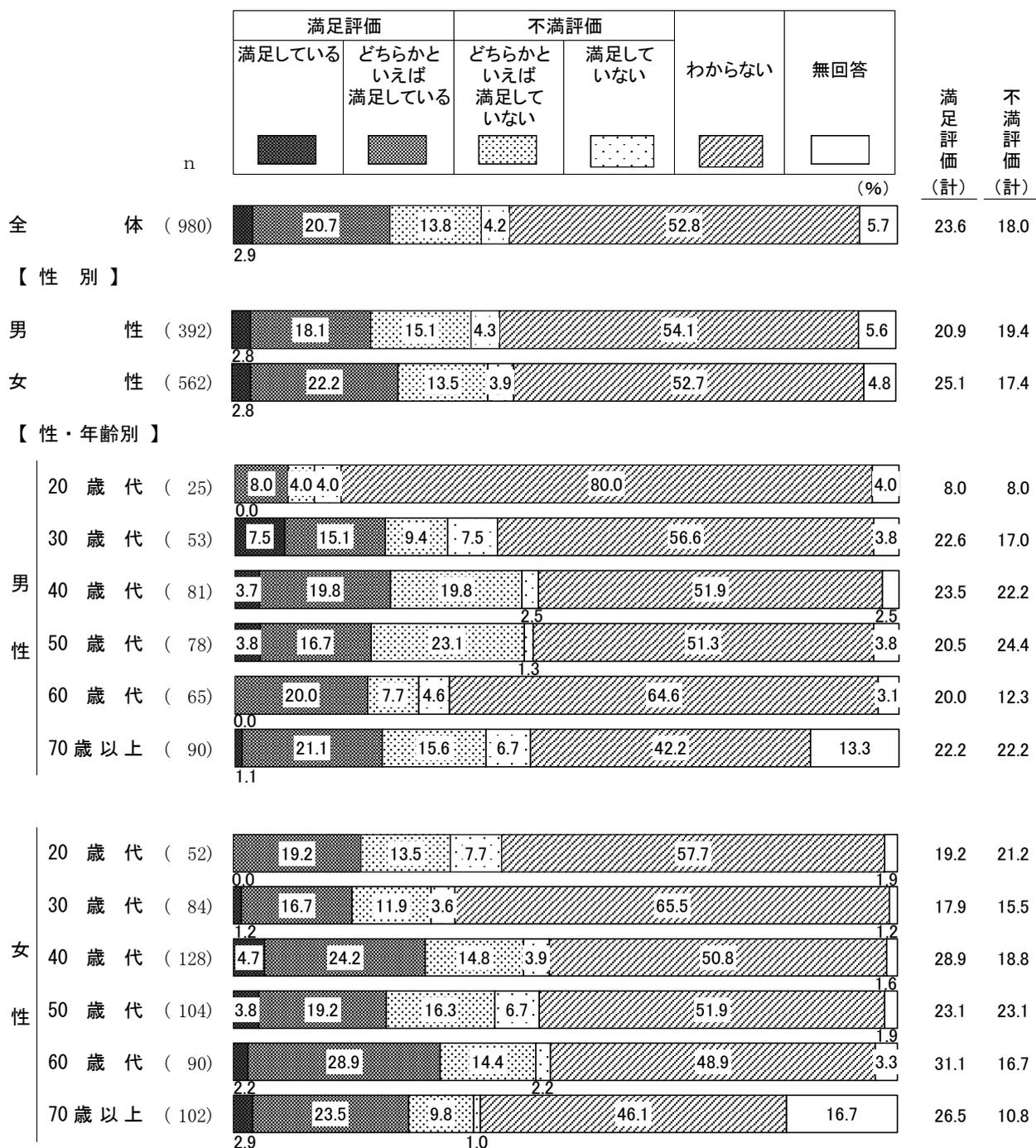
区内の文化芸術環境などに満足しているか聞いたところ、「わからない」(52.8%)が5割を超えている。「満足している」(2.9%)と「どちらかといえば満足している」(20.7%)を合わせた『満足評価』(23.6%)は2割を超えている。一方、「どちらかといえば満足していない」(13.8%)と「満足していない」(4.2%)を合わせた『不満評価』(18.0%)は2割近くとなっている。(図4-2-1)

図4-2-2 区内の文化芸術環境の満足度—地区別



地区別にみると、『満足評価』はI地区(〒176)で3割近くとなっている。(図4-2-2)

図4-2-3 区内の文化芸術環境の満足度—性別／性・年齢別



性別にみると、『満足評価』は女性の方が4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『満足評価』は女性60歳代で3割を超えて最も多く、女性40歳代が3割近くと次いでいる。(図4-2-3)

### (3) 区内の文化芸術環境の満足している分野および満足していない分野

◇満足している分野は「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が7割

◇満足していない分野は「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」がそれぞれ5割近く

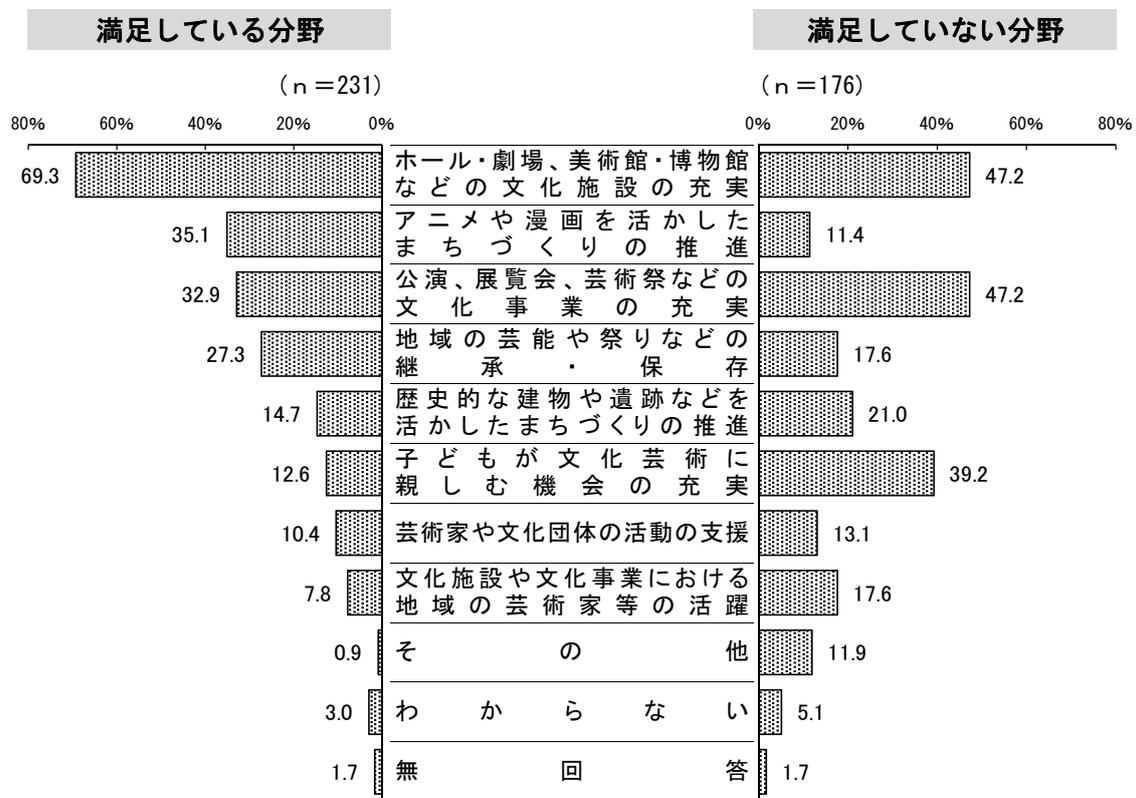
(問28で「1. 満足している」または「2. どちらかといえば満足している」と答えた方へ)

問28-1 区内の文化芸術環境のどの分野に満足していますか。(〇はいくつでも)

(問28で「3. どちらかといえば満足していない」または「4. 満足していない」と答えた方へ)

問28-2 区内の文化芸術環境のどの分野が不満足、または、不十分とお考えですか。(〇はいくつでも)

図4-3-1 区内の文化芸術環境の満足している分野および満足していない分野

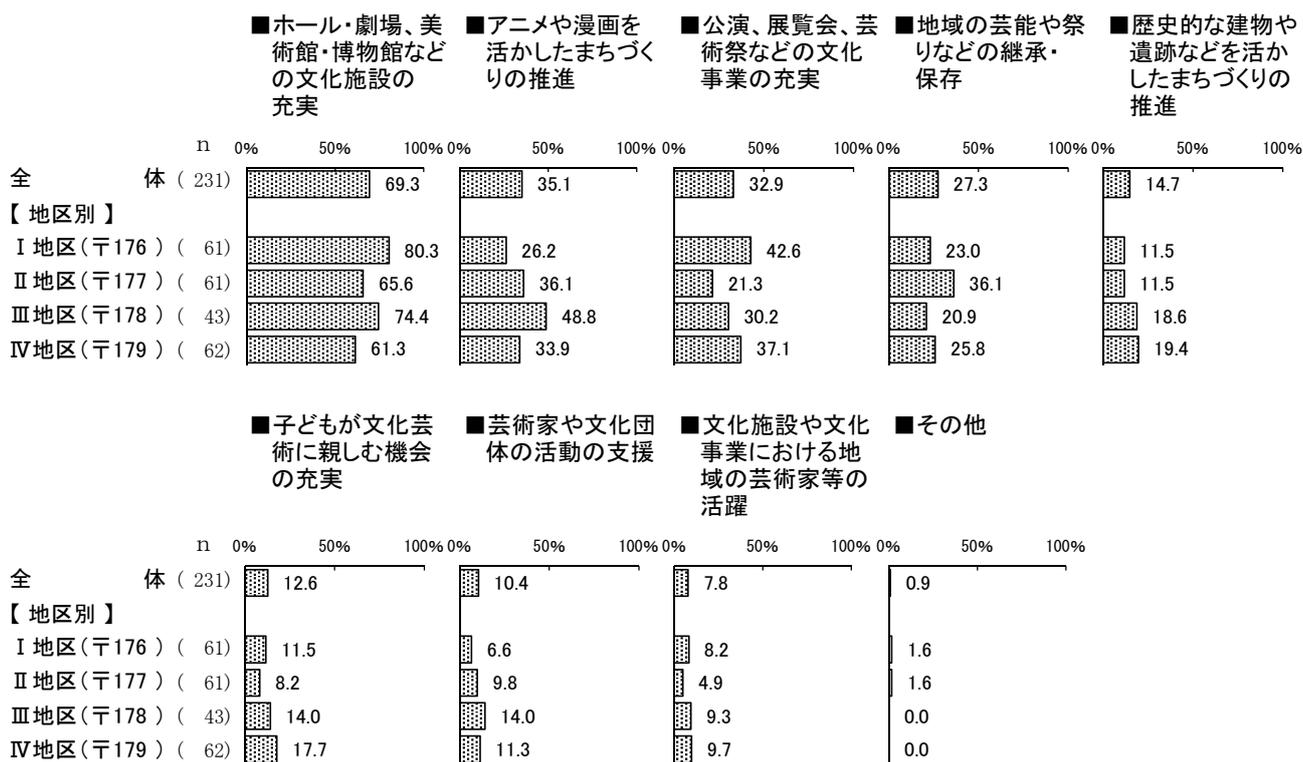


区内の文化芸術環境の満足度について「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えた方(231人)に、満足している分野を聞いたところ、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」(69.3%)がほぼ7割と最も多く、次いで「アニメや漫画を活かしたまちづくりの推進」(35.1%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(32.9%)、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」(27.3%)などの順となっている。

他方、区内の文化芸術環境の満足度について「どちらかといえば満足していない」または「満足していない」と答えた方(176人)に、満足していない分野を聞いたところ、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(ともに47.2%)が5割近くと最も多く、満足している分野において上位に挙げられている項目が上位となっている。次いで「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」(39.2%)、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」(21.0%)などの順となっている。

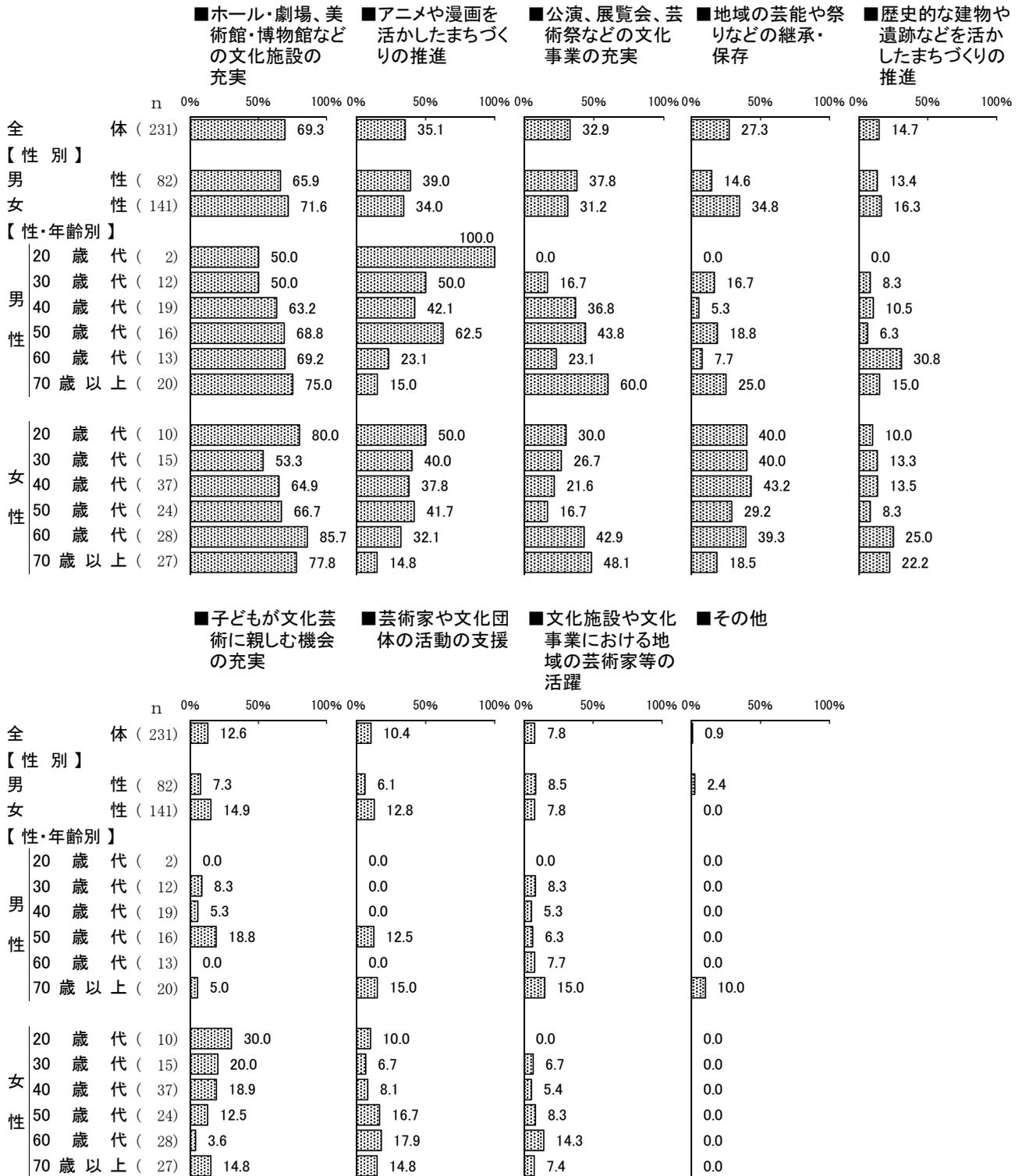
(図4-3-1)

図 4-3-2 区内の文化芸術環境の満足している分野—地区別



区内の文化芸術環境の満足している分野について、地区別にみると、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」はI地区(〒176)で8割を超えている。「アニメや漫画を活かしたまちづくり」はIII地区(〒178)で5割近くとなっている。「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」はI地区(〒176)で4割を超えている。(図4-3-2)

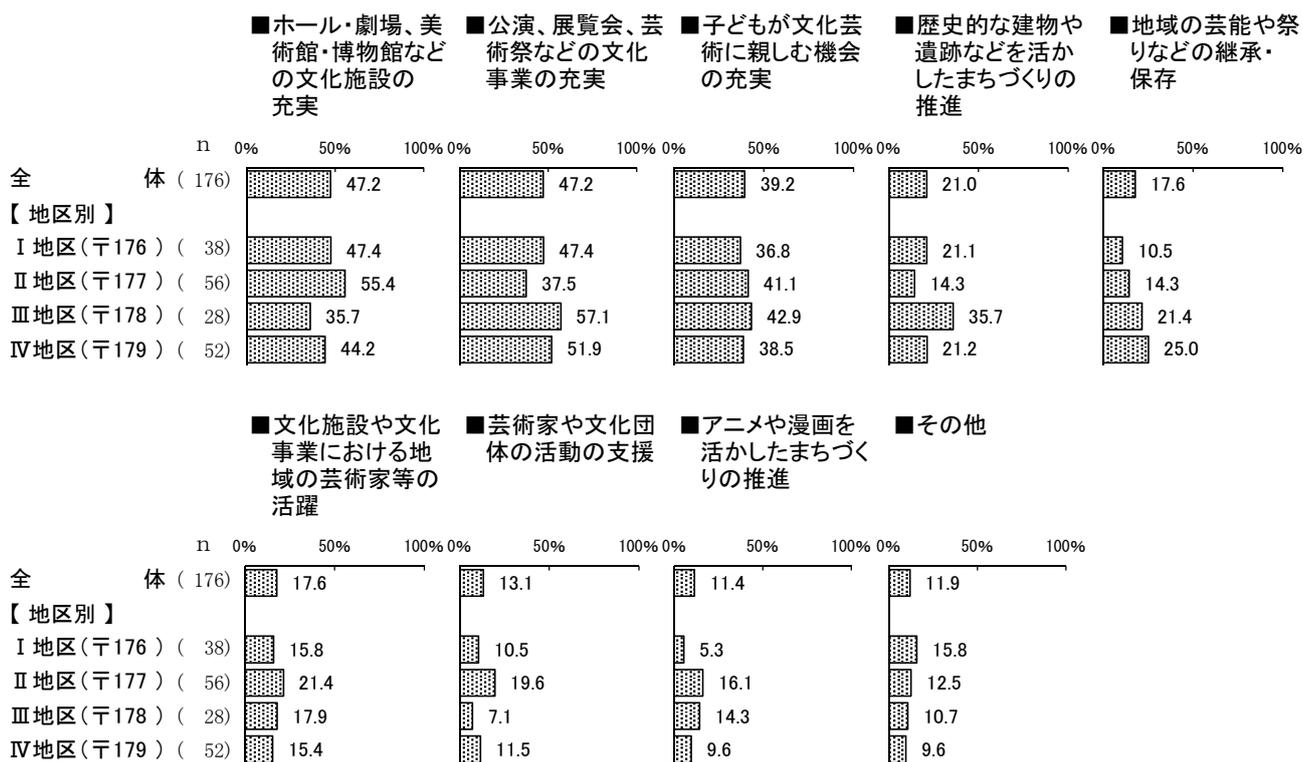
図4-3-3 区内の文化芸術環境の満足している分野—性別／性・年齢別



性別にみると、男性の方が「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が6.6ポイント、「アニメや漫画を活かしたまちづくり」が5.0ポイント高くなっている。一方、女性の方が「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」が20.2ポイント、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が7.6ポイント、「芸術家や文化団体の活動の支援」が6.7ポイント、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が5.7ポイント高くなっている。

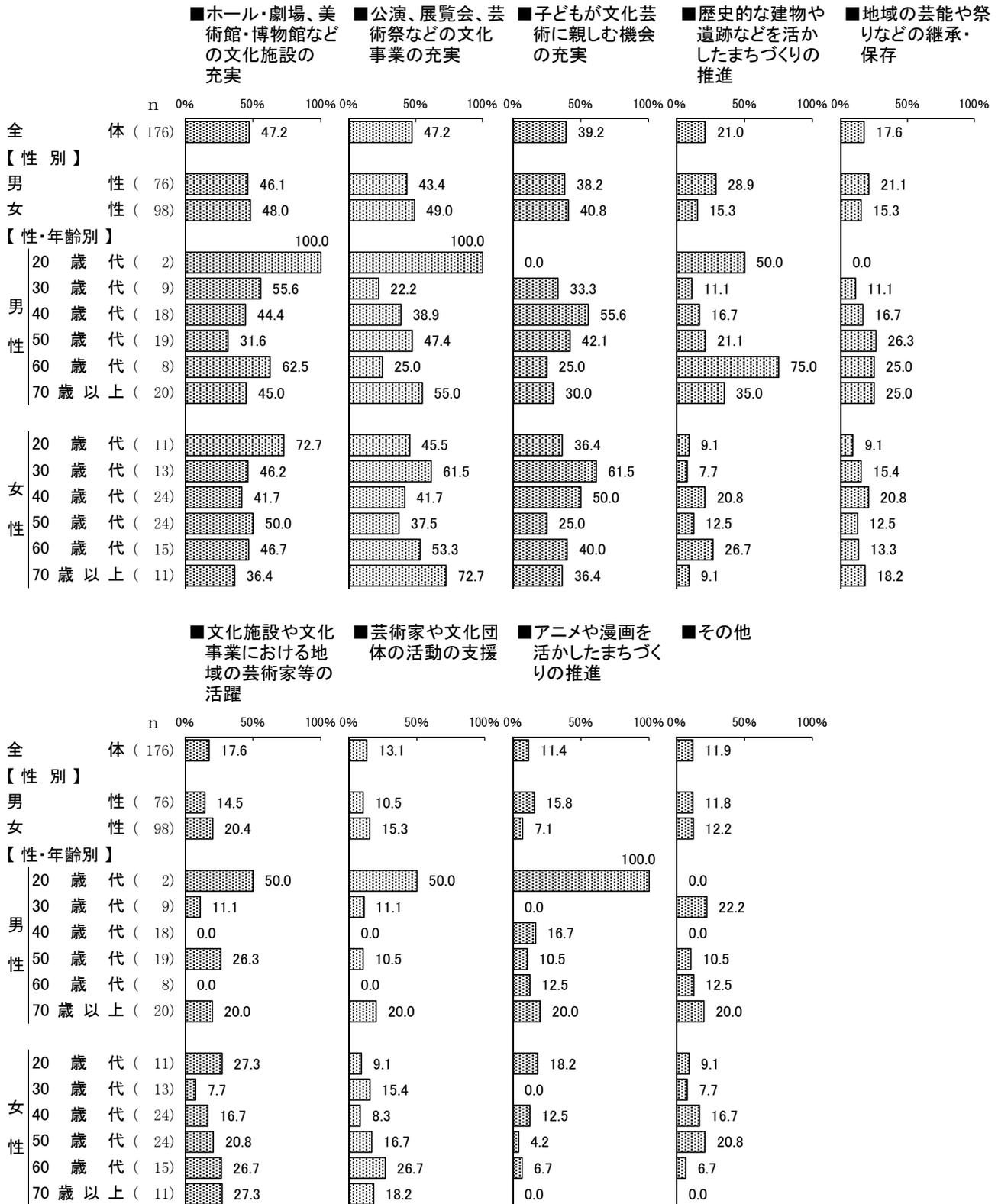
性・年齢別にみると、多少ばらつきはあるが、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」は高い年代ほど、「アニメや漫画を活かしたまちづくりの推進」は低い年代ほど多い傾向となっている。(図4-3-3)

図4-3-4 区内の文化芸術環境の満足していない分野—地区別



区内の文化芸術環境の満足していない分野について、地区別にみると、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」はII地区（〒177）で5割半ば、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」はIII地区（〒178）で6割近くと多くなっている。「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくり」はIII地区（〒178）で3割半ば、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」はIV地区（〒179）で2割半ばとなっている。（図4-3-4）

図 4-3-5 区内の文化芸術環境の満足していない分野—性別／性・年齢別



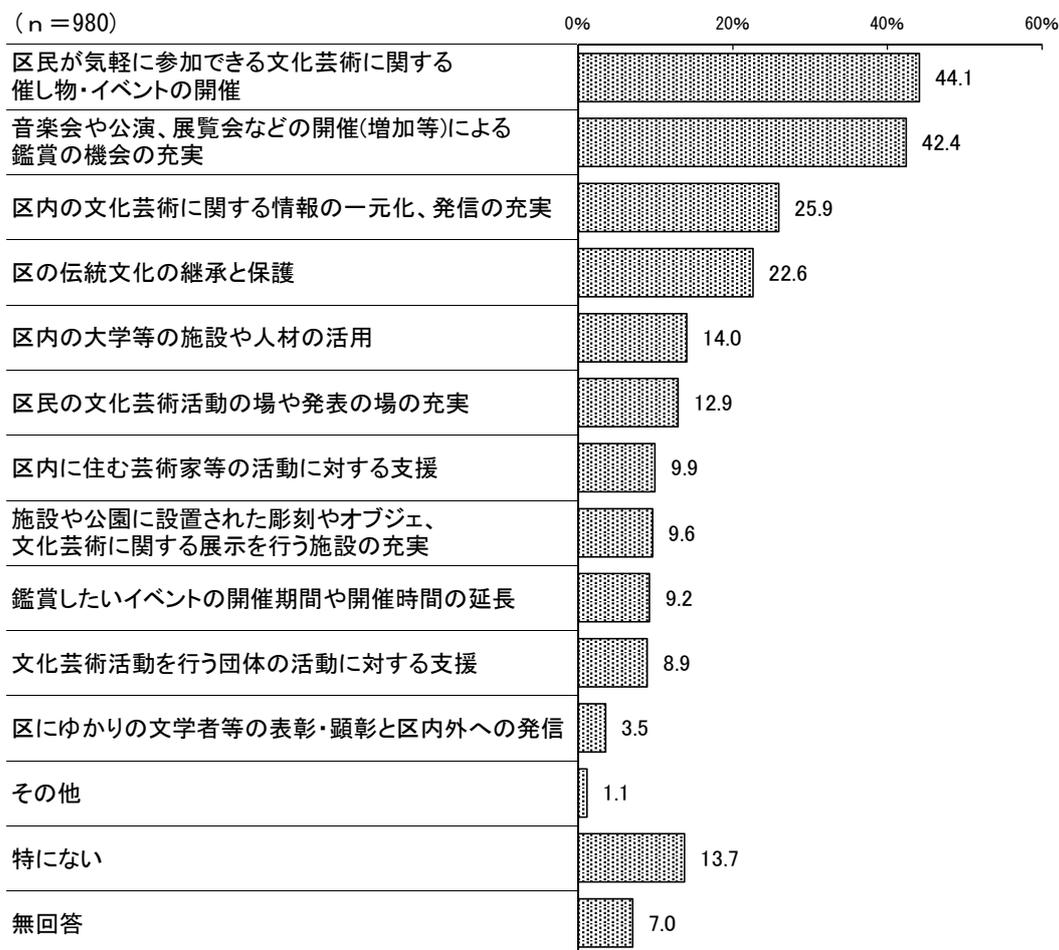
性別にみると、男性の方が「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくり」が13.6ポイント、「アニメや漫画を活かしたまちづくり」が8.7ポイント「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」が5.8ポイント高くなっている。一方、女性の方が「文化施設や文化事業における地域の芸術家等の活躍」が5.9ポイント、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が5.6ポイント高くなっている。(図4-3-5)

#### (4) 区内の文化芸術活動に対して必要な区の支援策

◇「区民が気軽に参加できる文化芸術に関する催し物・イベントの開催」が4割半ば

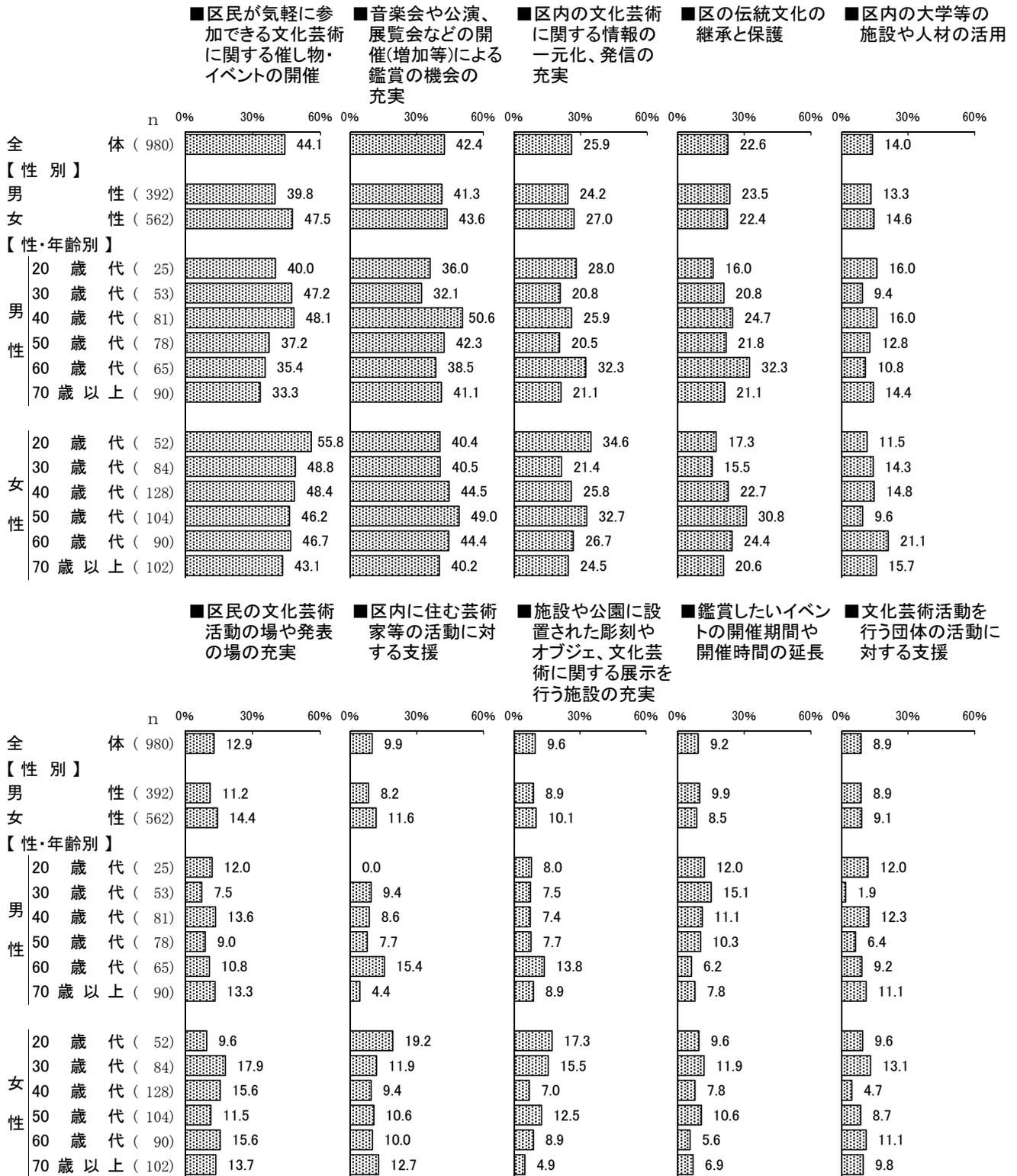
問29 区内の文化芸術活動に対する区の支援策として、あなたが必要だと思うものを3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。(3つまで)

図4-4-1 区内の文化芸術活動に対して必要な区の支援策



区内の文化芸術活動に対する区の支援策として必要と思うものを聞いたところ、「区民が気軽に参加できる文化芸術に関する催し物・イベントの開催」(44.1%)が4割半ばと最も多く、次いで「音楽会や公演、展覧会などの開催(増加等)による鑑賞の機会の充実」(42.4%)、「区内の文化芸術に関する情報の一元化、発信の充実」(25.9%)、「区の伝統文化の継承と保護」(22.6%)などの順となっている。(図4-4-1)

図4-4-2 区内の文化芸術活動に対して必要な区の支援策（上位10位）－性別／性・年齢別



性別にみると、「区民が気軽に参加できる文化芸術に関する催し物・イベントの開催」は女性の方が7.7ポイント高い。全般的に女性のポイントが高くなっている。

性・年齢別にみると、「区民が気軽に参加できる文化芸術に関する催し物・イベントの開催」は男女ともに低い年代ほど多い傾向となっている。「音楽会や公演、展覧会などの開催(増加等)による鑑賞の機会の充実」は男性40歳代、女性50歳代でほぼ5割、「区内の文化芸術に関する情報の一元化、発信の充実」は男性60歳代、女性20歳代、女性50歳代で3割台、「区の伝統文化の継承と保護」は男性60歳代、女性50歳代で3割台となっている。

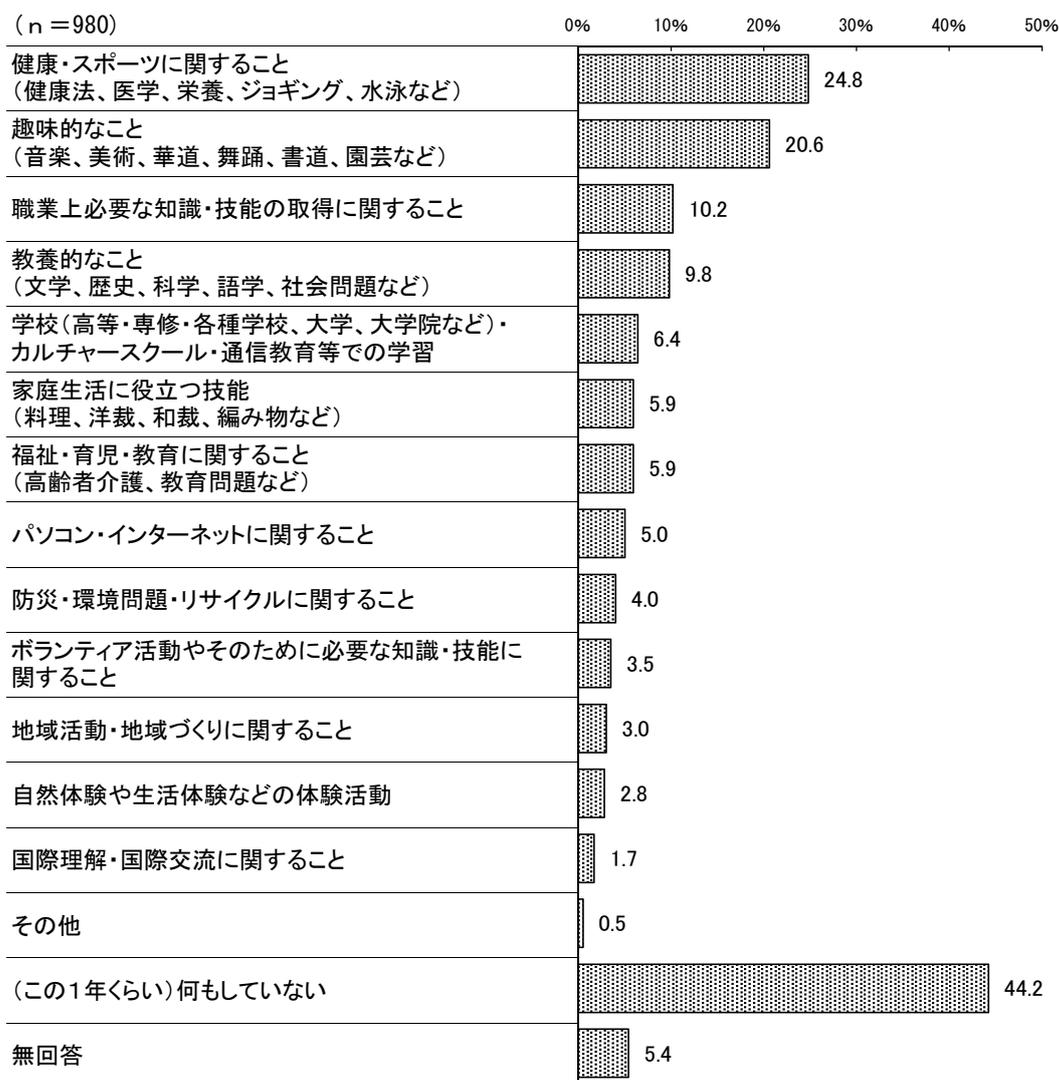
(図4-4-2)

## (5) 1年間に参加経験のある学習活動分野

◇「健康・スポーツに関すること」が2割半ば

問30 あなたは、この1年くらいの間に、次に示す講座などの学習活動の分野に参加したことがありますか。活動の場所は区内に限定せずお答えください。  
(〇はいくつでも)

図4-5-1 1年間に参加経験のある学習活動分野

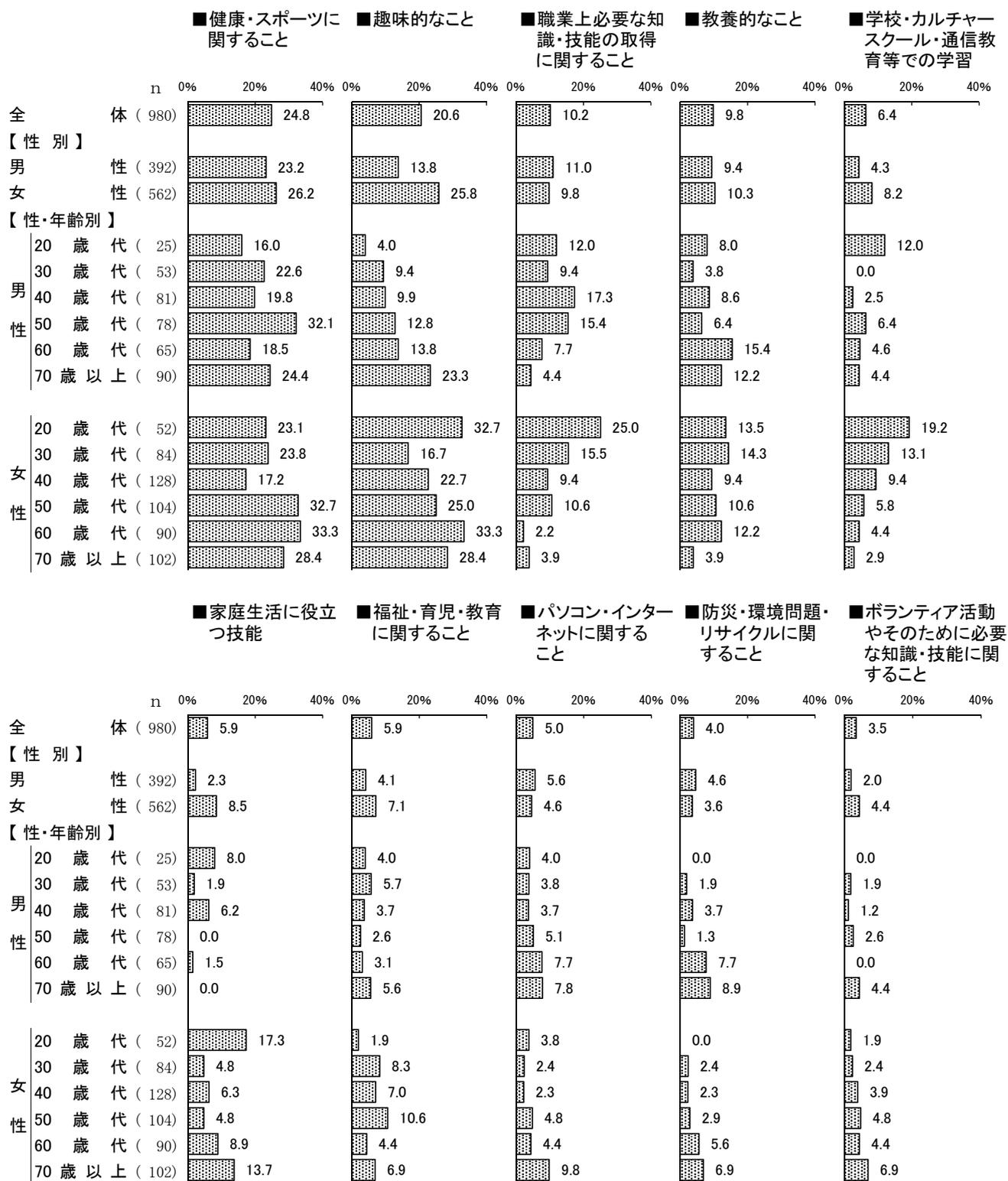


1年間に参加経験のある学習活動分野について聞いたところ、「健康・スポーツに関すること(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」(24.8%)が2割半ばと最も多く、次いで「趣味的なこと(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(20.6%)、「職業上必要な知識・技能の取得に関すること」(10.2%)、「教養的なこと(文学、歴史、科学、語学、社会問題など)」(9.8%)などの順となっている。

なお、「(この1年くらい)何もしていない」(44.2%)は4割半ばとなっている。

(図4-5-1)

図4-5-2 1年間に参加経験のある学習活動分野（上位10位）－性別／性・年齢別



性別にみると、女性の方が「趣味的なこと」が12.0ポイント、「家庭生活に役立つ技能」が6.2ポイント高くなっている。

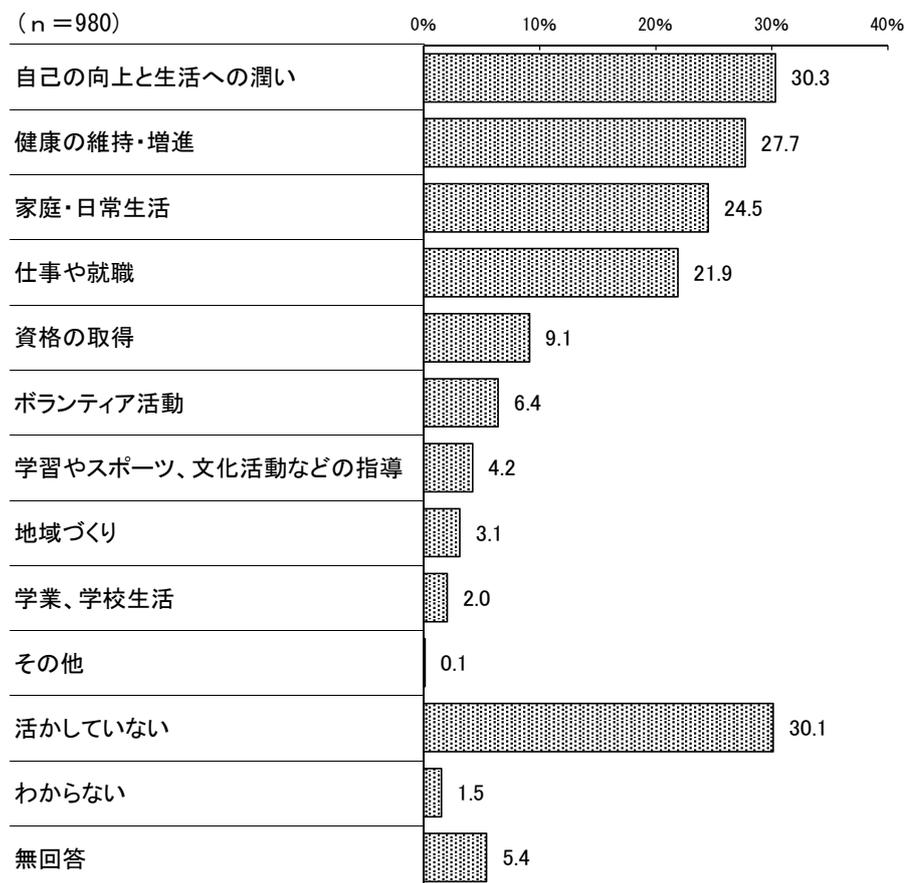
性・年齢別にみると、「健康・スポーツに関すること」は男性50歳代、女性50歳代、60歳代で3割台と多くなっている。「趣味的なこと」は女性20歳代、女性60歳代で3割台となっており、男性については高い年代ほど多い傾向となっている。「職業上必要な知識・技能の取得に関すること」、「学校・カルチャースクール・通信教育等での学習」は女性については低い年代ほど多い傾向となっている。（図4-5-2）

## (6) 学習活動の知識・経験を活かしているおよび活かしたい分野

◇「自己の向上と生活への潤い」と「活かしていない」がともに3割

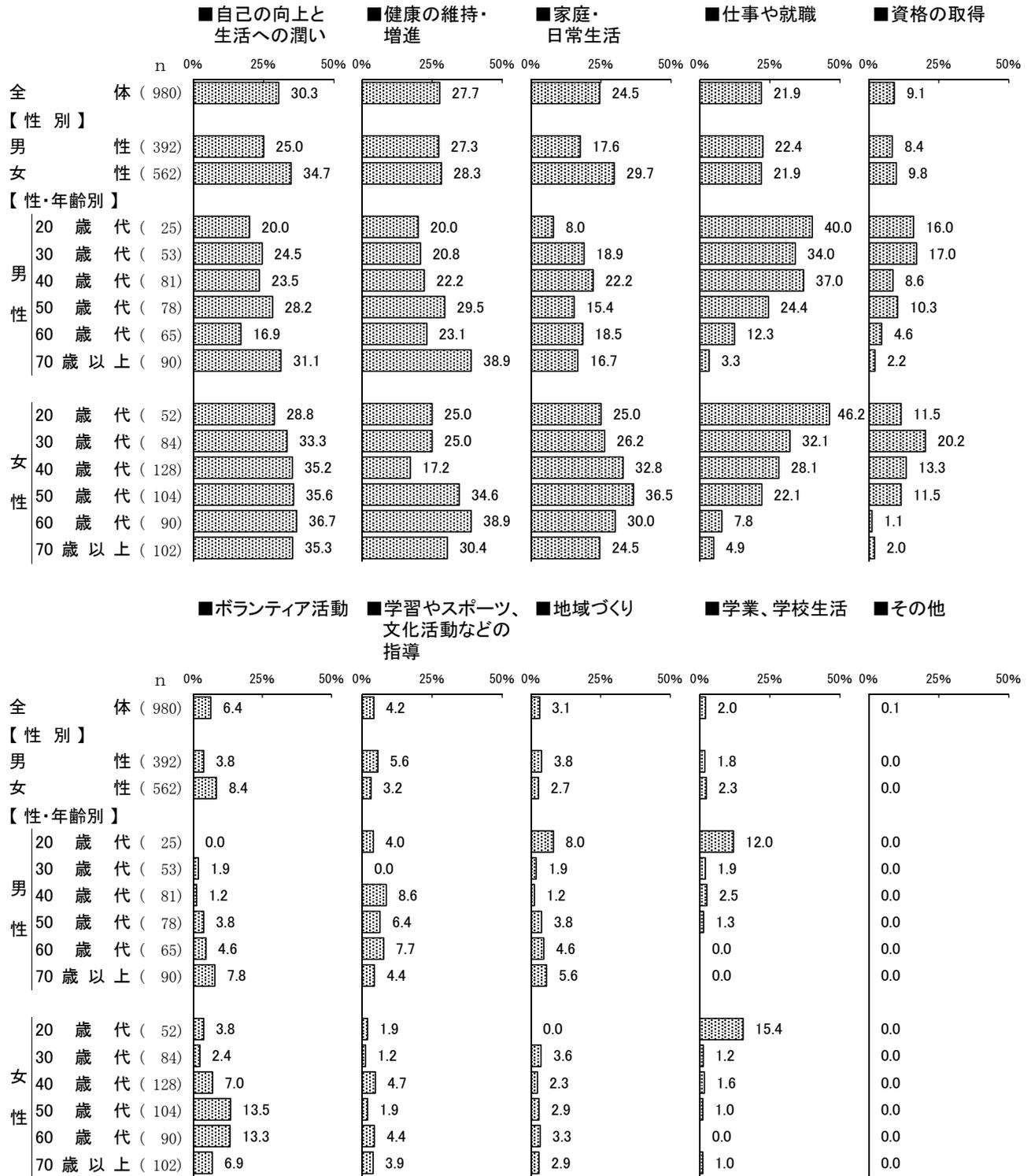
問31 学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験はどの分野で活かしていますか。または、活かしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

図4-6-1 学習活動を通じて身につけた知識・経験を活かしているおよび活かしたい分野



学習活動を通じて身につけた知識・経験を活かしているおよび活かしたい分野を聞いたところ、「自己の向上と生活への潤い」(30.3%)が3割を超え、次いで「健康の維持・増進」(27.7%)、「家庭・日常生活」(24.5%)、「仕事や就職」(21.9%)などの順となっている。一方、「活かしていない」(30.1%)は3割を超えている。(図4-6-1)

図4-6-2 学習活動を通じて身につけた知識・経験を活かしているおよび活かしたい分野—性別／性・年齢別



性別にみると、「家庭・日常生活」は女性の方が12.1ポイント、「自己の向上と生活への潤い」は女性の方が9.7ポイント高くなっている。

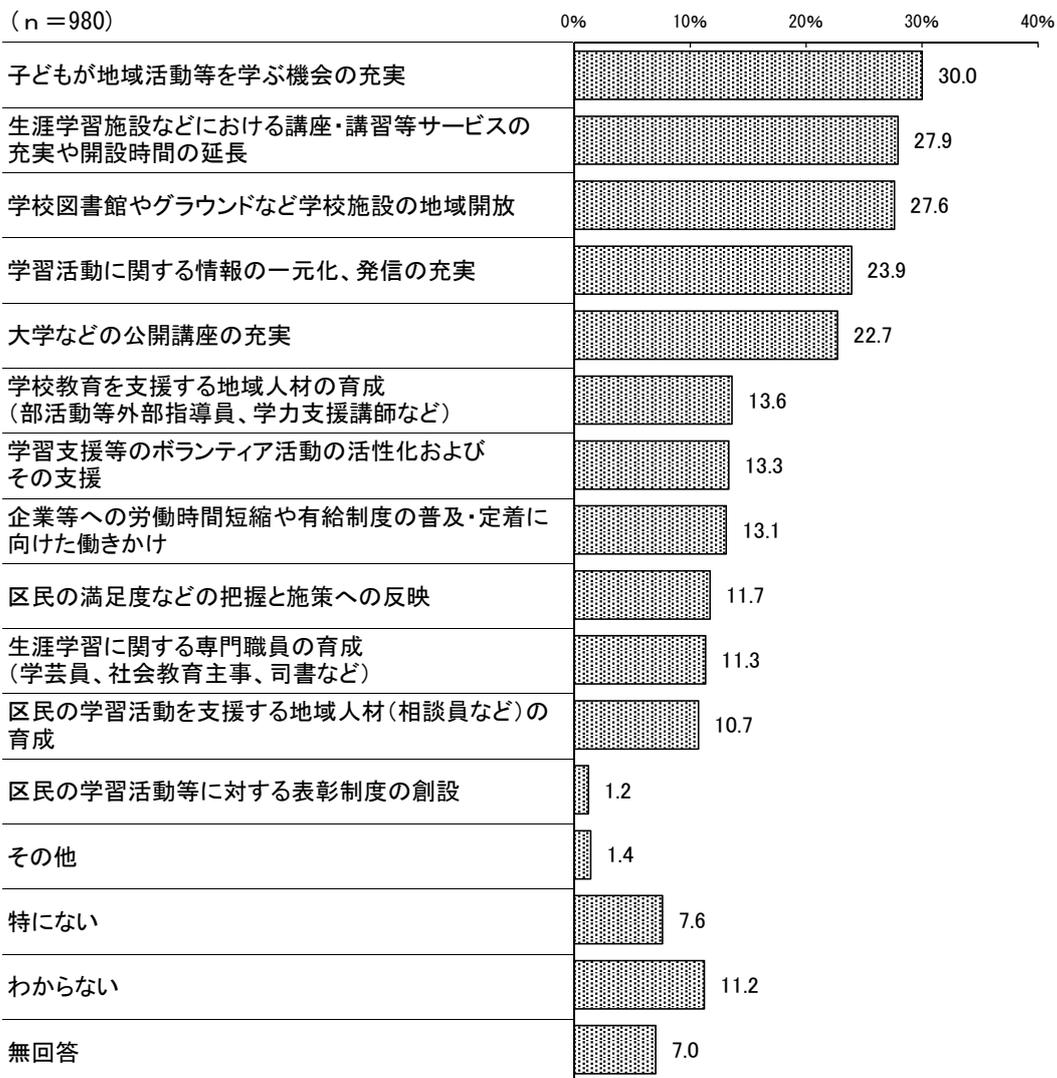
性・年齢別にみると、「健康の維持・増進」は男性70歳以上、女性60歳代で4割近くと多くなっている。「家庭・日常生活」は女性40歳代から60歳代で3割台と多くなっている。「仕事や就職」は男女ともに低い年代ほど多い傾向となっており、男性20歳代、女性20歳代で4割台と多くなっている。(図4-6-2)

## (7) 生涯学習推進のために今後区に力を入れて取り組んでほしいこと

◇「子どもが地域活動等を学ぶ機会の充実」が3割

問32 今後、生涯学習を推進していくために、区はどのようなことに力を入れるべきと考えますか。(〇はいくつでも)

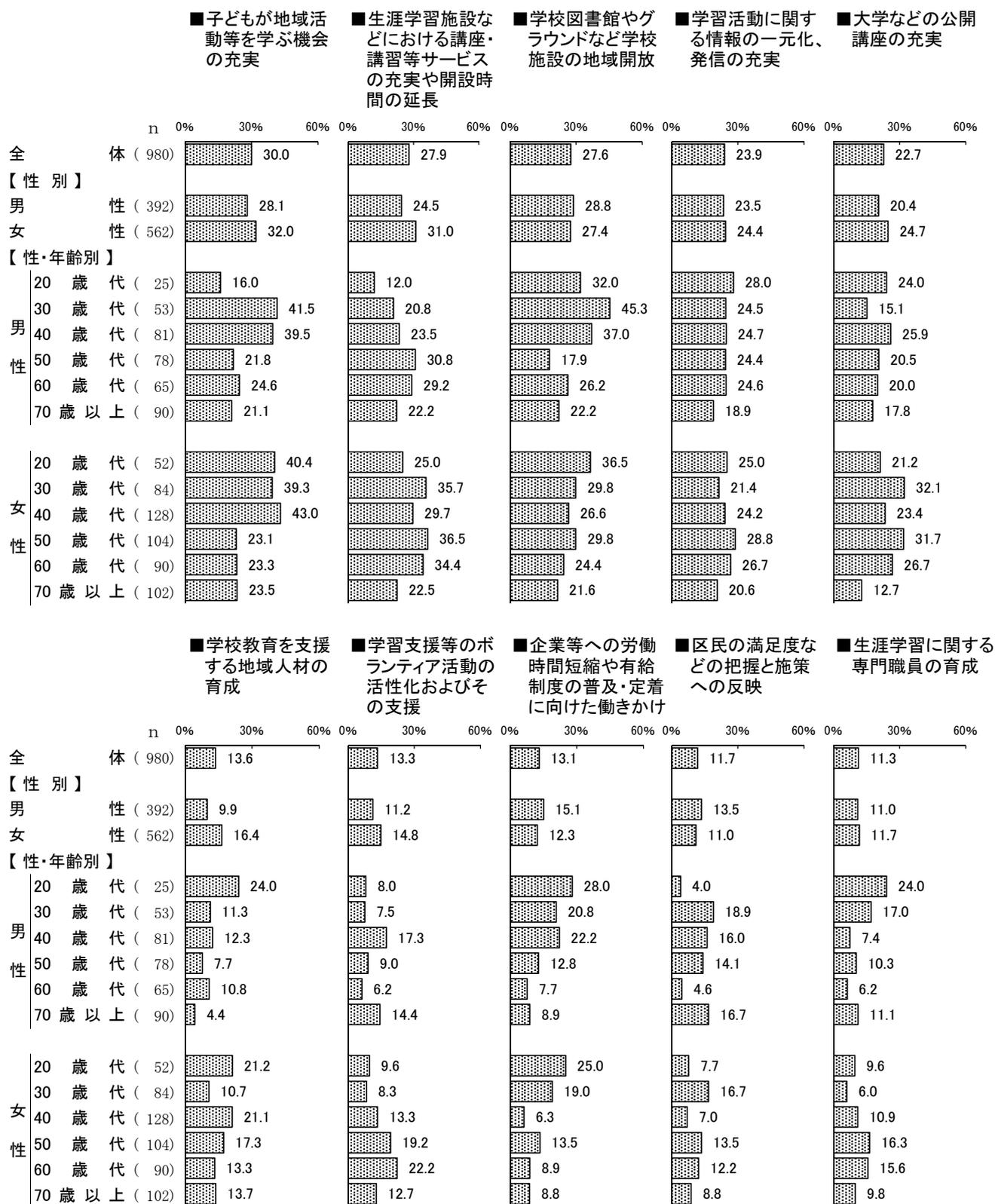
図4-7-1 生涯学習推進のために今後区に力を入れて取り組んでほしいこと



生涯学習推進のために今後区に力を入れて取り組んでほしいことを聞いたところ、「子どもが地域活動等を学ぶ機会の充実」(30.0%)が3割と最も多く、次いで「生涯学習施設などにおける講座・講習等サービスの充実や開設時間の延長」(27.9%)、「学校図書館やグラウンドなど学校施設の地域開放」(27.6%)、「学習活動に関する情報の一元化、発信の充実」(23.9%)、「大学などの公開講座の充実」(22.7%)などの順となっている。

(図4-7-1)

図4-7-2 生涯学習推進のために今後区に力を入れて取り組んでほしいこと(上位10位)－性別／性・年齢別



性別にみると、「生涯学習施設などにおける講座・講習等サービスの充実や開設時間の延長」、「学校教育を支援する地域人材の育成」は女性の方がともに6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「子どもが地域活動等を学ぶ機会の充実」は男性30歳代、40歳代、女性20歳代から40歳代でほぼ4割と多くなっている。「学校図書館やグラウンドなど学校施設の地域開放」は男性30歳代で4割半ばと多く、男性20歳代、40歳代、女性20歳代が3割台となっている。(図4-7-2)